

講演会「繊維」×「AI」 ～ AI・ビッグデータ・ロボット・IoT が繊維産業に切り拓く未来～

AI・ビッグデータ・ロボットを巡る昨今の技術進展は目まぐるしく、繊維産業においてもウェアラブルやファッション、介護・医療など様々な分野への用途展開が期待されます。「繊維」に「AI・IoT・ロボット・ビッグデータ」を融合すれば、どのような技術・ビジネスの展開が図れるのか、各分野の第一人者にご講演頂きます。皆様のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年8月3日(金) 10.00～16.30

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 「地域包括ケアへの応用を目指したファッションナブルな IoT デバイス／システム開発」

…………… 奈良女子大学 研究院 生活環境科学系 教授・学長補佐 才脇 直樹
私たちは、女性や生活者の視点を生かしたデバイスやシステムのデザイン及び開発を目指す生活工学に取り組んでいます。今回は、衣服やアクセサリといった身近なアイテムのスマート化技術であるウェアラブルエレクトロニクスを概観し、その長所と短所を踏まえた上で、今後の少子高齢化社会に生かす取り組みについて紹介します。

11.10～12.20

(2) 「スマート衣料を活用した労働環境評価と健康経営の実現」

…………… 大阪大学 大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 教授 清野 健
心拍数、身体活動量などの生体情報を計測可能なスマート衣料が開発され、医療診断や日常の健康管理への応用が期待されています。本講演では、健康対策としてだけでなく、ミスや事故の発生リスクの低減といった労働環境での利用を想定したスマート衣料や生体情報の活用法を紹介します。さらに、企業全体の健康経営を実現するために、IoT 技術を活用したサイバーフィジカルシステムの可能性についても紹介します。

13.10～14.10

(3) 「ロボット・AI 技術の導入をめぐる生活者の受容性と課題－日米独 3 カ国調査からの示唆－」

…… (株)野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部 上席コンサルタント 日戸 浩之
日米独の国際比較調査の結果によると、日本では「ロボット＝人型」でコミュニケーションが取れる対象として親近感がもたれています。それに対して、米国は今後のロボットの利用意向が3カ国では最も高く、一方でドイツはロボットが生活の中に入ってくることへの抵抗感が強いなど、各国民のロボットに対する価値観に違いがみられます。今や我々の生活や社会全体を変える可能性をもったロボットやそれを支える AI 技術をどう受け入れて利用していくかを考える時に来ています。

14.20～15.20

(4) 「ファッションテックによるイノベーションについて」

…………… (株)スタートトゥデイテクノロジーズ 代表取締役 CIO 金山 裕樹
ビッグデータや AI という言葉が毎日のようにメディアで取り上げられる昨今、ファッション分野においても大きなイノベーションが起きようとしています。研究所を立ち上げ、技術革新を目指す我々スタートトゥデイグループの運営するサービス、これまでの研究開発実績、そして、「なぜ積極的に研究開発を行うのか」その背景を紹介します。

15.30～16.30

(5) 「ファッションにおける新しい顧客中心のデータ活用」

…………… (株)エアークローゼット 代表取締役社長 兼 CEO 天沼 聡
日本初の「普段着」に特化したファッションレンタルサービス「airCloset」の立ち上げストーリーとその目指す世界についての講演です。サービスを通しお客様から着心地などのフィードバックを頂いています。こういったデータを人工知能の活用やデータ解析を行うことにより、次のお客様へのサービス価値に転化しています。「買うよりも借りの方がお得」という経済合理性の上になり立っていたレンタルサービスの価値観を覆し、「これまでにない感動するファッションとの出会い」をお届けするサービスについてお伝えします。

協賛 大阪染色協会

定員 50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 15,000円，協賛学協会員 15,000円，非会員 25,000円，学生会員 1,000円，学生非会員 2,000円（税別）

申込 「講演会繊維×AI」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail:info@tmsj.or.jp

繊維リサイクル技術研究会第130回情報交換会 設立17周年記念総会・講演会 ～経済的に見合う繊維リサイクルを考える～

期日 2018年7月27日（金） 14.00～17.00

会場 京都工芸繊維大学60周年記念会館（京都市左京区松ヶ崎御所海道町）

内容

14.00～14.20 総会

14.30～14.40 開会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

14.40～15.40 最新の話から

「アパレルにおける，新しいエシカルの形」（OUTLETでもないリユースでもない，Rename）

..... (株)FINE 新規事業開発 ディレクター 杉村 康宏

15.40～17.00 記念講演

「環境経済学と持続可能な発展」

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 佐藤 真行

17.30～19.00 懇親会（希望者のみ，有料）

問い合わせ先 繊維リサイクル技術研究会委員長，京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

tkimura426@gmail.com

講演会「繊維でデザインする音環境」

今日の私たちの生活環境には様々な「音」が溢れています。これまでに快適な「音環境」を構築するべく、吸音材料等が開発され提案されていますが、その多くは繊維で構成されています。近年、「音環境」制御の技術レベルは向上してきていますが、快適な「音環境」ニーズはそれ以上に高まってきています。このニーズに応え、新たな素材や材料を提案、あるいはそれらを活用するためには、「音」を制するための“吸音”のメカニズムを理解し、最新のニーズを知り、最新の技術情報を得る必要があると考えました。そこで、本講演会では、快適な「音環境」を構築する開発者に役立つと考えられる演題を選定させて頂きました。即ち、吸音のメカニズムや評価手法、また、新たな吸音素材に加え、自動車や住宅分野でのユーザー視点での快適な「音環境」に関わる考え方を学ぶことができます。皆様のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年9月10日(月) 10.00~15.55

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~11.30

(1)「自動車の車内騒音評価 (吸音・遮音材料による対策技術)」

…………… 愛知工業大学 工学部 機械学科 教授 谷本隆一
遮音・吸音の基礎をわかりやすく紹介し、その事例として、エンジンで発生した音がエンジンルーム内で音響増幅、さらに一重壁パネル、内装材を透過し、車室内に侵入するメカニズムと対策について解説します。さらに、車室内に侵入した音の拡散を吸音シートにより防止し、車内騒音低減に成功した事例を紹介します。

11.45~12.45

(2)「音響計測の手法」

…………… (株)小野測器 営業本部 商品統括ブロック セミナー統括グループリーダー 富田 稔
快適な音環境の把握のためには、正確な音の計測が欠かせません。しかし、研究開発の現場ではどのように計測したらよいか解らず困ってしまうことも多いのではないのでしょうか。本講演においては、音の性質について紹介したうえで、音圧計測をはじめとする音響計測の各種手法や計測機器について事例なども交えながらお話しします。

13.45~14.45

(3)「大和ハウスの遮音・吸音材の活用法」

…………… 大和ハウス工業(株) 総合技術研究所 信頼性センター安全環境性能グループ 研究員 渡邊将平
大和ハウスは「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、様々な事業展開を行っており、その中でもハウジング事業は大和ハウスの中核となる事業である。住環境性能の一つである音響性能は顧客の感性価値を充たす重要な要素である。遮音・吸音性能にフォーカスし、事例を交えながら、住宅における遮音・吸音材について紹介します。

14.55~15.55

(4)「自動車の防音性能設計と吸音・遮音の開発ニーズ」

…………… (株)本田技術研究所 四輪 R&D センター 第11 技術開発室 第2BL 主任研究員 近藤 隆
自動車開発において防音性能は商品性を決める重要な要素となります。昨今、自動車業界は電動化や自動運転などへシフトし、静粛性のニーズは高まる一方です。そこで、自動車開発における防音性能設計の現状と課題を紹介し、将来の吸音・遮音材料へのニーズについて考察していきます。

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 25,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講演会繊維でデザインする音環境」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会・不織布研究会合同研究会

日程 2018年9月13日(木)～14日(金)

会場 韓国テグテキスタイルコンプレックス Daegu Textile Complex (DTC)
Daegu Dongu palgong_ro227, <http://www.dtcomplex.org/>

協賛 大邱慶北繊維産業連合会

ツアー日程表 (予定)

	月日 (曜)	都市名	現地 時間	交通 機関	スケジュール
1	9/12(水)	大阪(関西空港) 大 邱	17:35 発 19:10 着	BX127	大阪より空路, エア釜山にて大邱へ 着後, 専用車にて移動し, ホテルチェックイン 《大邱泊》
2	9/13(木)	大 邱	午 前 午 後	専用車	午前中, ITC Convergence Expo Korea2018 視察 (韓国の Smart phone/watch, Tablet PC, 3D/ Display, 3D Printer, Smart Car, Intelligent-automobile, self-driving car) http://www.itce.kr/eng/introduction/sub_05.asp 13:00～16:00 講演会 「非常に柔軟で透明なナノファイバーベースの透明電極とその 応用」 全北大学 教授 Kim byoung suhk 「シルクの電界紡糸に及ぼす各種因子の影響, および得られた 絹ウェブの構造と性質」 慶北大学 教授 Um In Chul 16:00～17:00 韓国慶北繊維産業連合会の紹介と展示 (他の催しになる場合もございます) 17:00～20:00 日本・韓国参加者交流会(夕食パーティ) ※懇親会費5千円程度 《大邱泊》
3	9/14(金)	大 邱	終 日	専用車	終日, 企業と研究所の視察 ・TOPTEC ナノファイバー製造設備 ・韓国繊維開発研究院 ・DYETEC 研究院 《大邱泊》
4	9/15(土)	大 邱 大阪(関西空港)	午 前 15:15 発 16:40 着	BX128	午前中, 自由行動(ご希望者は企業訪問と観光)のち空路, エア釜山にて大阪へ 着後, 入国審査の後解散.

参加費 ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会メンバー無料

学会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 10,000 円, 学生非会員 12,000 円(税別)

定員 20 名

ツアー料金 ツアー日程(3泊4日) ツアー料金 78,000 円

※含まれるもの

エコノミークラス往復航空券, 空港税・燃油サーチャージ他, 大邱クリスタルホテル・シングルルーム
3泊, 朝食3回, 企業視察ツアーバス代, EXPO 視察費など(合同研究会参加費や昼夕食, 懇親会費は
含みません)

申込方法 学会 HP より申込書をダウンロードいただき, お申込みください.

主催 一般社団法人日本繊維機械学会 ナノファイバー研究会・不織布研究会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル 6F

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

旅行取扱 株式会社インセンティブ 大阪府知事登録旅行業第1990号

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-2-12 本町平成ビル 7F

TEL: 06-6543-8875, FAX: 06-6543-8856

E-mail: info@tehai.net 総合旅行業務取扱管理者 村松 哲臣

第46回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）研究発表募集

THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）は、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために1972年に始まり、Mt.Fuji Conferenceの愛称で親しまれ、本年で46回目を迎えます。会議は英語使用を原則とし、口頭発表およびポスター発表が行われます。例年、国内外から60～100名が集い、30～40論文が討論され、特に若い研究者が著名な海外からの研究者と親しく話せる国際学術交流の場になっています。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月3日(月)～5日(水)

会 場 帝人アカデミー富士（旧富士教育研修所）（静岡県裾野市下和田 656）

JR三島駅より、タクシーご利用の場合、駅北口より約30分。バスご利用の場合、駅南口より須山行または遊園地ぐりんぱ行約45分「帝人アカデミー富士前」下車。

内 容 次号にプログラム掲載予定

9月3日(月) 登録、昼食、研究発表、討論、Welcome Party

9月4日(火) 研究発表、討論、ポスター発表、Beer Party

9月5日(水) 研究発表、討論（午前のみ予定）、討論会終了後国際交流会（予定）

参加費

シンポジウム全日程参加（税別、アブストラクト集代を含む）

会員 25,000円、非会員 33,000円、テクスタイル科学研究会メンバー 22,000円、学生 10,000円

Welcome Party, Beer Party, Coffee break は無料。

国際交流会（予定）：参加無料、宿泊が伴う場合有料。

宿泊食事費

帝人アカデミー富士：2名1室で3食含め1泊1名：10,000円、シングルユースの場合3,000円追加。

※宿泊部屋数に限りがありますので、ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

近辺のホテル：ルートイン裾野インター（静岡県裾野市御宿字幕間 1532-1）、車で約8分。

参加申込

平成30年7月31日(火)までにお申込みください。

参加申込みサイト（http://tmsj.or.jp/TRS_46th.php?lang=JP）よりお申し込みください。

問合せ先

日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第46回繊維工学研究討論会実行委員会

実行委員長 井上 真理（神戸大学）

実行委員 金井 博幸（信州大学） 佐藤 哲也（京都工芸繊維大学） 鋤柄佐千子（京都工芸繊維大学）

田上 秀一（福井大学） 安永 秀計（京都工芸繊維大学） 山下 義裕（大阪成蹊短期大学）

與倉 弘子（滋賀大学）

アドバイザー 松平 光男（元金沢大学、カトーテック）

PROGRAM OF THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.FUJI

TEIJIN ACADEMY FUJI
SUSONO CITY, SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN

September 3, 4 and 5, 2018

3th September (Monday)

11 : 00~12 : 00	Registration
12 : 00~13 : 00	Lunch
13 : 00~13 : 10	Opening
13 : 10~14 : 40	Session 1 : Production Technology of Fiber, Yarn and Textiles
14 : 40~14 : 55	Coffee break
14 : 55~16 : 55	Session 2 : Robotics and Textiles
18 : 00~19 : 30	Dinner
19 : 30~	Welcome Party

4th September (Tuesday)

8 : 30~	Registration
9 : 00~10 : 30	Session 3 : Design and Quality of Textiles
10 : 30~10 : 45	Coffee break
10 : 45~12 : 15	Session 4 : Nano Fibers and Smart Textiles
12 : 15~13 : 30	Lunch
13 : 30~14 : 30	Session 5 : Composite and Industrial Textiles
14 : 30~14 : 45	Coffee break
14 : 45~16 : 15	Session 6 : Textiles Science and Engineering
16 : 15~17 : 15	Poster presentation
18 : 00~19 : 30	Dinner
19 : 30~	Beer Party

5th September (Wednesday)

8 : 30~	Registration
9 : 00~ 9 : 30	Session 7 : Environment and Sustainability
9 : 30~10 : 30	Session 8 : Fabric Handle and Sense Evaluation
10 : 30~11 : 30	Session 9 : Composite and Industrial Textiles
11 : 30~11 : 35	Closing Address
11 : 35~13 : 00	Lunch
13 : 00~17 : 00	Excursion

3th September (Monday)

11 : 00~12 : 00 **Registration**

12 : 00~13 : 00 **Lunch**

13 : 00~13 : 10 **Opening**

13 : 10~14 : 40 **Session 1 : Production Technology of Fiber, Yarn and Textiles**

1. **Production of non-circular cross-section fibers**

Yiwen Chen, Wataru Takarada, Takeshi Kikutani
Tokyo Institute of Technology, Japan

2. **Simulation of the sliver linear density behavior in a drawing process**

You Huh, Jung Ho Lim, Jong Sung Kim
Kyung Hee University, Korea

3. **Water wicking of knit fabric in comparison of ring yarn with of vortex**

Tatsumori Matsumoto
Murata Machiney Ltd., Japan

- Coffee Break 15 min -

14 : 55~16 : 55 **Session 2 : Robotics and Textiles**

4. **Deep reinforcement learning of robotic cloth manipulation**

Takamitsu Matsubara
Nara Institute of Science and Technology, Japan

5. **Forcibly spinning of bombyx mori silkworm silk ended in a complete failure**

Yutaka Kawahara
Gunma University, Japan

6. **New design of knitted gloves to stimulate hand motor rehabilitation**

Raphael Santos, Yuta Yamaguchi, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

7. **Viscoelastic flow simulation of polymer melts in the cylinder gap region for the discussion of carbon fiber bundle impregnation process**

Shuichi Tanoue, Hideyuki Uematsu
University of Fukui, Japan

18 : 00~19 : 30 **Dinner**

19 : 30~ **Beer Party**

4th September (Tuesday)

8 : 30~ **Registration**

9 : 00~10 : 30 **Session 3 : Design and Quality of Textiles**

8. **Suppression of hair photodamage by using bio-reductants**

Hidekazu Yasunaga, Aya Shomura, Martina Viková, Michal Vik
Kyoto Institute of Technology, Japan

9. **The creation of buoyant fabrics by inlay knitting structure**

Nga-wun Li, Chu-po Ho, Kit-lun Yick, Jin-yun Zhou
The Hong Kong Polytechnic University, H.K.

10. **Unit-cell modeling of woven fabrics for digital design of textile**

Atsushi Sakuma, Hikaru Miyaki
Kyoto Institute of Technology, Japan

- Coffee Break 15 min -

10 : 45~12 : 15 **Session 4 : Nano Fibers and Smart Textiles**

11. **A new spinning method and its yarn qualities**

Jong S. Kim, Jung H. Lim, You Huh
Kyunghee University, Korea

12. **Fabrication of microporous active membranes by electrospaying**

Mohanapriya Venkataraman, Rajesh Mishra, Xiaoman Xiong, Jiri Militky, Veerakumar Arumugam
Technical University of Liberec, Czech Republic

13. **Effects of process condition to galvanic traits of battery yarn**

Jungho Lim, Jong Sung Kim, You Huh
Kyung Hee University, Korea

12 : 15~13 : 30 **Lunch**

13 : 30~14 : 30 **Session 5 : Composite and Industrial Textiles**

14. **High performance fibrous sandwich composites**

Rajesh Mishra, Kasthuri Rajagopala Venkatesh, Jiri Militky, Dana Kremenakova
Technical University of Liberec, Czech Republic

15. **Bending properties of CFRP with braided structure**

Toshiyasu Kinari, Nanang Endriatno, Takuru Suehiro
Kanazawa University, Japan

- Coffee Break 15 min -

14 : 45~16 : 15 **Session 6 : Textiles Science and Engineering****16. Research and development of cervical cell harvesting fixtures from the experiment of the adsorption amount**

Hitomi Morino, Kozo Hirata
Kobe Women's University, Japan

17. Sound absorption behaviour of perpendicular-laid nonwovens

Tao Yang, Xiaoman Xiong, Rajesh Mishra, Jan Novák, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

18. New definition of relative surface area of nanomaterials

Jiri Militky, Dana Kremenakova, Rajesh Mishra
Technical University of Liberec, Czech Republic

16 : 15~17 : 15 **Poster presentation****P 1. Relationship between surging and yarn tension in false twisting machine**

Kouichi Hayashida, Naoto Kaneda
National Institute of Technology Fukui College, Japan

P 2. Relationship between the number of discs and the twist form in disc friction false twisting machines

Naoto Kaneda, Ryosuke Sasa
National Institute of Technology Fukui College, Japan

P 3. Identification of elastic characteristics of yarn woven in various textile

Shohei Fujita, Atsushi Sakuma
Kyoto Institute of Technology, Japan

P 4. Improvement in particle retention capacity of ultraporous nanofiber nonwoven fabric by plasma-induced surface modification

Yasuhito Mukai, Yoshihiro Takayama
Nagoya University, Japan

P 5. EVOH/PU composite nanofiber

Yoshihiro Yamashita, Hajime Miyake
Osaka Seikei College, Japan

P 6. Textile identification using robotic fingers

Felix Von Drigalski, Ding Ming, Jun Takamatsu, Tsukasa Ogasawara
Nara Institute of Science and Technology, Japan

P 7. Compression resilience and impact resistant properties of fibre reinforced sandwich composites

Kasthuri R Venkatesh, Rajesh Mishra, Jana Novotna
Technical University of Liberec, Czech Republic

P 8. Experimental study on convective heat transfer through fibrous insulators

Xiaoman Xiong, Mohanapriya Venkataraman, Tao Yang, Rajesh Mishra
Technical University of Liberec, Czech Republic

P 9. Study on the properties of meltblown nonwovens of poly (lactic acid)/polyamide11 blends

Jian Han, Feichao Zhu, Bin Yu, Juanjuan Su
Zhejiang Sci-Tech University, China

10 お知らせ

P10. **Estimation of hair damage by fluorescence from berberine**

Hiroki Ogihara, Martina Viková, Michal Vik, Hidekazu Yasunaga
Kyoto Institute of Technology, Japan

P11. **Objective hand evaluation of car interior materials**

Takafumi Hata, Mari Inoue
Kobe University, Japan

P12. **Durability of Hand in Cotton Terry Fabrics**

Hiroko Yokura, Sachiko Sukigara
Shiga University, Japan

P13. **An analysis of woven fabric grain for men functional business dress shirt design using stress body area analysis method**

Vannesa Chu, Chu-po Ho, Joe Au, Jin Lam
The Hong Kong Polytechnic University, H.K.

P14. **Basic research on deformation behavior of loop on plain knitted fabric under biaxial tensile**

Yumi Fujiki, Lina Wakako*
National Institute of Technology, Ishikawa College, Japan
* : Kanazawa University, Japan

P15. **A design of "Wear promotes exercise effect" with the purpose of improving comfort**

Yoshitaka Niimi, Toshiya Jitsuishi, Hiroyuki Kanai,
Kiyohiro Shibata*,
Antonín Havelka**
Shinshu University, Japan
* : AOKI Inc., Japan
** : Technical University of Liberec, Czech Republic

P16. **Softness design of head protection gear by nonlinear deformation of porous material**

Atsushi Sakuma
Kyoto Institute of Technology, Japan

P17. **Effects of Braiding Structure on Artificial Hair Lustre**

Elizabeth Kalist Akaro, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

18 : 00~19 : 30 **Dinner**

19 : 30~ **Beer Party**

5th September (Wednesday)

8 : 30~ **Registration**

9 : 00~ 9 : 30 **Session 7 : Environment and Sustainability**

19. **Towards circular economy in textiles : a world with zero waste**

Arun Aneja
East Carolina University, USA

9 : 30~10 : 30 **Session 8 : Fabric Handle and Sense Evaluation**

20. **Relation between fingertip forces and tactile perception of cashmere fabrics**

Davaajav Narantogtokh, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

21. **Hand evaluation of silk thin dress fabrics and washing durability**

Mari Inoue
Kobe University, Japan

10 : 30~11 : 30 **Session 9 : Composite and Industrial Textiles**

22. **Experimentally determined advanced mechanical properties of 3D spacer fabrics**

Veerakumar Arumugam, Rajesh Mishra, Dana Kremenakova, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

23. **Mechanics of advanced 3D woven structural composites**

B.K. Behera
Indian Institute of Technology Delhi, India

11 : 30~11 : 40 **Closing Address**

11 : 40~13 : 00 **Lunch**

13 : 00~17 : 00 **Excursion**

13 : 00 Departure Teijin Academy Fuji

14 : 00~16 : 00 Tour Hakone Shrine

16 : 00 Departure Hakone Shrine

17 : 00 Arrival JR Mishima Station, Dissolution

Chair	Prof. Mari Inoue	(Kobe Univ.)
Members	Dr. Hiroyuki Kanai	(Shinshu Univ.)
	Prof. Tetsuya Sato	(Kyoto Inst. Tech.)
	Prof. Sachiko Sukigara	(Kyoto Inst. Tech.)
	Prof. Shuichi Tanoue	(Fukui Univ.)
	Prof. Hidekazu Yasunaga	(Kyoto Inst. Tech.)
	Dr. Yoshihiro Yamashita	(Osaka Seikei Coll.)
	Prof. Hiroko Yokura	(Shiga Univ.)
Adviser	Dr. Mitsuo Matsudaira	(Kato Tech Co.)

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類		開 講 日	講 座 名
入門		開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)
専 門 講 座	糸	6/29(金)	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		7/20(金)	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/4(火)	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	9/26(水)	1. 「組物」(0.5日)
		9/27(木)	2. 「織物」(1日)
		9/28(金)	3. 「編物」(1日)
		9/11(火)	4. 「不織布」(1日)
		10/5(金)	5. 「染色加工」(1日)
		11/29(木), 30(金)	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	12月予定	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11/9(金)	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11/21(水)	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		1月予定	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3月予定	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ

「天然繊維の糸づくり」

紡績分野に携わっておられる方々のみならず、織編、染色加工、アパレル等の分野で、糸に関する知識を得たいと思っておられる方々には最適のカレッジです。

多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2018年6月29日(金) 10.00~16.55

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

10.00~11.30

(1) 天然繊維概論 (人間と繊維, 衣料用天然繊維の特徴, 性能と主な用途など)

..... 滋賀大学 教育学部 教授 與倉 弘子

12.30~14.30

(2) 糸づくり概論 (紡績糸の製造工程, 糸の種類, 構造, 番手, 撚り)

..... 岐阜大学名誉教授, 日本繊維機械学会フェロー 岡村 政明

14.45~15.45

(3) 紡績糸の製法 (打綿~巻き取り)

..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 第1G 安藤 友亮

15.55~16.55

(4) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ天然繊維の糸づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会スマートテキスタイル研究会係

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「化学繊維の糸づくり」

さまざまな化学繊維の製造法について、基礎から先端技術までを平易に解説する講座を開催します。本講座では、まず繊維の分類と各々の繊維の製造法について概要を述べた後、高分子科学的な観点からの、糸づくりの基礎・繊維の性質の基礎についても言及します。さらに、再生繊維と合成繊維について、製造法の基礎と開発経緯、さらには、技術的工夫による高性能・高機能化につき、古典的なものから最先端技術までを、現場技術の観点から平易に解説します。

繊維の製造に関わる科学者・技術者ばかりでなく、普段さまざまな繊維を扱う方々にとっても、その製法の概要を理解しておくことは、繊維の性質を深く理解することに繋がるため極めて重要です。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年7月20日(金) 10.00~17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

- (1) 化学繊維概論 (10.00~11.00)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・繊維の分類 (天然繊維・化学繊維)
 - ・化学繊維の分類 (再生繊維・半合成繊維・合成繊維・無機繊維)
 - ・化学繊維の基本的な性質と化学構造の関係 (熱特性, 水分特性)
 - ・糸の, 太さ, 強さなどの表記法
 - ・糸の種類 (フィラメント, ステープル, 撚糸)
 - ・布帛構造 (織・編, 不織布)
- (2) 化学繊維の糸づくり概論 (11.10~12.30)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・化学繊維製造工程の概要 (原料から製品まで)
 - ・化学繊維のつくり方 (紡糸, 延伸, 熔融紡糸, 溶液紡糸 (湿式, 乾式, 半乾半湿式))
 - ・材料の性質と製造条件の違い (ポリエステルとポリプロピレン, 繊維構造形成)
 - ・さまざまな化学繊維製造技術 (スパンボンド, メルトブロー, フラッシュ紡糸, 電界紡糸等)
- (3) 再生繊維の糸づくり (13.30~15.00)

..... 元旭化成, 日本技術士センター理事 溝口 隆久

 - ・湿式紡糸の基礎と開発経緯
 - ・ビスコースレーヨンとキュプラの紡糸技術の違い
 - ・生産工程と製法・条件
 - ・生産性向上, 高機能化, 機能付与
- (4) 合成繊維の糸づくり (15.10~16.40)

..... 元東レ, 斉藤技術士事務所代表 齋藤 磯雄

 - ・熔融紡糸の基礎と開発経緯 (従来法, POY-DTY, 超高速熔融紡糸等)
 - ・さまざまな機能性繊維の糸づくり
 - ・断面形態: 異形断面, 中空, 異収縮混織, 細 De, モノフィラメント
 - ・複合化技術: 芯・鞘, 海島, 極細繊維, 導電性等,
 - ・材料の改質: 共重合, カチオン可染, アルカリ減量
 - ・産業用繊維の製法と高性能化
- (5) 紡糸・延伸工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.50~17.50)

..... (株) TMT ソリューションズ 参与 中田 賢一

 - ・合成繊維 (主にポリエステル長繊維) 生産時の各種品質欠点と後工程への影響
 - ・品質欠点の発生要因と対策
 - ・生産工場での品質管理体制確立について

- 協賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合, 日本化学繊維協会
- 定員** 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 参加費** 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)
- 申込** テキスタイルカレッジ化学繊維の糸づくりと明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会 HP より WEB 申込みができます.
- 申込先** 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp



内外の全繊維・全加工段階のデータ・資料を収録 2018 年版『繊維ハンドブック』

<B6 判 約 360 頁 (CD-ROM 付) 定価 (8,334 円 + 税 666 円) 送料当方負担 >

日本と世界の最新の繊維データバンクとして定評のある『繊維ハンドブック』の「2018 年版」が、このほど発刊された。1959 年の初版から数えると、54 回目の刊行に当たり、毎回、細部にわたる見直しと増補が行われてきた。日本と主要国の繊維原料から素材、テキスタイル、アパレル、流通、消費に至るまでの全繊維、全加工段階の最新のデータ・資料が系統立てて収録されており、文字どおり“繊維のことなら何でも分かる”ハンドブックとなっている。

「国内統計編」「国際統計編」「資料編」の 3 部構成で、全体を通じて既刊内容との継続性に細かい配慮が払われている。さらに、「国内統計編」「国際統計編」は Excel 形式で「資料編」は PDF 形式で、全てのデータを CD-ROM に収録して、使いやすさの便を図っている。繊維業界に携わっている人にはもちろん、繊維を研究、あるいは繊維に関心を持っている人にとっても活用範囲は誠に広い。

お問い合わせ・お申込みは、日本化学繊維協会まで。

東京 / 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-11 (繊維会館)
TEL (03) 3241-2313 FAX (03) 3246-0823
<http://www.jcfa.gr.jp>

なお、日本国外からの購入申込みについては丸善雄松堂にお問合せ下さい。

Maruzen-Yushodo Co., Ltd.
Export Department
phone : 81-3-4335-9316 fax : 81-3-4335-9368
E-mail : export@maruzen.co.jp



テキスタイルカレッジ

「不織布」

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに物性と用途などについて，系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数の受講をお待ちしています。

期 日 2018年9月11日(火) 9.30～17.40

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) 不織布概論・短繊維不織布技術－乾式不織布（9.30～10.40）

..... 東レ(株) 不織布技術部 主任部員 小出 現

- ①日本の不織布の歴史について
- ②不織布の分類・製法，使用繊維について
- ③乾式不織布の製法，特許，後加工について
- ④乾式不織布の特徴・物性と用途について

(2) 短繊維不織布技術－湿式不織布（10.50～12.00）

..... 特種東海製紙(株)研究開発センター 市場開発部 部長 服部 景

- ①湿式不織布の歴史，概要について
- ②湿式不織布の製法，特許，使用原料について
- ③湿式不織布の特徴・物性と用途について

(3) ナノファイバー不織布の作製と実用（13.00～14.10）

..... ナノファイバー研究会委員長，大阪成蹊短期大学 山下 義裕

- ①ナノファイバーの歴史と特許について
- ②ナノファイバーの製法について（エレクトロスピンングパルプの微細化など）
- ③ナノファイバーの特徴と用途開発について

(4) 長繊維不織布技術－スパンボンド（14.20～15.30）

..... 東洋紡(株) 生活・産業マテリアル統括部 スパンボンド事業部長 田中 茂樹

- ①スパンボンドの歴史と概要について
- ②スパンボンドの特許，製法，使用原料について
- ③スパンボンドの特徴・物性と用途について

(5) 長繊維不織布技術－メルトブロー（15.40～16.50）

..... 高知県立紙産業技術センター 不織布課チーフ 鈴木 慎司

- ①メルトブローの歴史と概要について
- ②メルトブローの特許，製法，使用原料について
- ③メルトブローの特徴・物性と用途について

(6) 不織布の物性測定について（17.00～17.40）

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

- ①不織布の性質・機能と試験方法について
- ②不織布の製品の評価方法について

協 賛 大阪染色協会，関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円，協賛学協会員15,000円，非会員23,000円，学生会員3,000円，学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ不織布」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「組物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「組物」の専門家を講師としてお迎えし、組物の製造方法や組み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため組紐製作実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および組物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や組物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月26日(水) 13.00~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

13.00~13.30

(1) 組紐・組物の概要

組紐・組物の概要, 組紐の歴史

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

13.30~14.10

(2) 伝統工芸品としての組紐

組紐の種類(組紐の構造)と特性, 手組技術

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

14.20~15.20

(3) 組物作製実習

..... 講師全員

15.30~16.10

(4) 産業用途の組物

産業用途の組紐種類, 技術・製品・研究動向

..... 講師未定

16.10~17.00

(5) FRP用の組物

FRP用途の組紐技術・製品・研究動向

..... 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住忠司

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員10,000円, 協賛学協会員10,000円, 非会員18,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ組物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「織物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「織物」の専門家を講師としてお迎えし、小型の実物織機を用いて織物の製造方法や織り構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため織地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および織物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や織物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月27日(木)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.50

(1) 織物・織機の基礎

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

11.00～11.40

(2) 織物組織と特性

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹

11.40～12.20

(3) 整経機

..... 津田駒工業(株)

13.20～15.00

(4) 織機

..... (株)豊田自動織 繊維機械事業部 技術部 織機技術室 横山鉄夫

15.10～15.50

(4) 織地不良と管理

..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹

16.00～17.00

(5) 織地分析実習 講師全員

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円、協賛学協会員15,000円、非会員23,000円、学生会員3,000円、学生非会員5,000円（税別）

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ織物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「編物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「編物（ニット）」の専門家を講師としてお迎えし、編物の製造方法や編み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため編地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および編物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や編物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月28日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.40

(1) 編物・編機の基礎

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田ゆか

10.40～11.50

(2) 横編機と編地

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野寿樹

12.50～14.00

(3) 丸編機と編地

..... 元福原精機製作所、京都工芸繊維大学 繊維科学センター シニアフェロー 武内俊次

14.10～15.20

(4) 経編機と編地

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

15.30～16.30

(5) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内宏城

16.40～17.30

(6) 編地分析実習

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野寿樹

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

..... 元福原精機製作所、京都工芸繊維大学 繊維科学センター シニアフェロー 武内俊次

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ編物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工」

「染色加工」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年10月5日(金) 9.30~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

(1) 染色の基礎理論 (9.30~11.00)

..... 梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる(染色)現象は“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論があるのですが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

(2) 染料概論 (11.15~12.45)

..... 元住友化学, 今田技術士事務所 今田 邦彦
染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

(3) 天然繊維の染色加工(基礎) (13.45~15.15)

..... 元鐘紡, 改森技術士事務所 改森 道信
セルロース繊維(綿, 麻, レーヨン等)及びタンパク質繊維(ウール, シルク)の、染色前・染色・加工仕上工程を実施して行く上で必要となる最低限の繊維に関する知識, 代表的な染色前及び染色工程・加工工程, 及びそれぞれの工程に用いる機械についての基礎的な知識を紹介します。

(4) 合成繊維の染色加工(基礎) (15.30~17.00)

..... 元グンゼ, ユタックス, 坂本技術士事務所 坂本 修三
生産比率が高い合成繊維のポリエステル, ナイロン, アクリルを中心に、その他各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎が分かるように解説します。また関連技術の付加価値加工事例と業界動向に触れます。さらに複合素材を扱う染色加工現場の諸課題を検証しながら、複合素材の同浴染色加工の体験事例を紹介します。

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会員15,000円, 非会員23,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ染色加工」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」

人の感覚という個人差が大きく漠然とした捉えどころのないもののように思うかもしれませんが、アパレル製品の着心地の良さには、見た目や触れた時の布の風合い・暑さ寒さのような温熱的快適性・動きやすさがかかわっており、これらはそれぞれ視覚や皮膚感覚である触知覚・温覚冷覚・圧覚と対応しています。これらの感覚を主観評価や生理量から捉え、布の材料特性と関連付けることで、着心地を客観的に数値で捉えることが可能です。

テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」の講座では、このような繊維製品の感覚性能を評価するための手法の基礎について学びます。

まず着心地の数値化についての基本的な手法、そして人間の「触知覚」や「視覚」による布の風合い評価、アパレル製品の「衛生機能」および「運動機能」の側面からの着心地評価という観点から、その計測・評価方法を、事例を交えて基礎から解説します。

感覚性能は繊維製品だけでなく、生活の中で人が触れて用いられるものすべてに関わる性能です。繊維に関わる勉強をしている学生、アパレル製品に関連する業務を担当されている方々だけでなく、人の感覚や感性といったことに興味をお持ちの方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、実際に計測してみたいという方は、テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」（12月8日開催）の受講も併せてご検討ください。

期 日 2018年11月9日(金) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) アパレル製品の「着心地」を数値化するには（10.00～11.30）

..... 信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典

アパレル製品の感性品質（心地）を的確に捉えるために、主観および客観評価が必要になってきています。そこで、人間の視覚と触知覚機能、視覚や触知覚で「着心地」を評価するときに用いる官能検査方法、着心地に関連する生地の物理特性の計測・評価方法、着心地を評価しているときのヒトの生理的機能量の計測・評価方法、主観評価と客観評価結果との対応付けについて、研究成果を示しながら解説します。

(2) 風合い評価－触覚－（12.30～13.30）

..... 元金沢大学教授、カトーテック（株）技術顧問 松平 光男

布の風合い（触感）は、明治に入って英国から紳士服が日本に導入されて以来、テーラーや消費者から重要視され、風合いの良いスーツを着ることが消費者の夢であった。川端、丹羽教授らは、風合い判断が微小な荷重レベルでの初期力学特性に基づいていることを見だし、弊社と共同でKESシステムの設計、開発に成功した。日本繊維機械学会内に風合い計量と規格化研究委員会（略称 HESC）を組織し、基本風合い、総合風合いを定義し、KESシステムで得られる基本力学パラメータから布の風合い客観評価法の開発に成功した。今回は、その概略を解説します。

(3) 風合い評価－視覚－（13.40～14.40）

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

視覚によって評価される布の風合い（視覚的風合い）は、最終テキスタイル製品の付加価値を向上させる要因の一つです。これまで、黒色織物の外観に関する研究については多くの報告がありますが、主観的評価法や物理的特性の計量法の標準化には至っていません。ここでは織物の視覚的風合いを主観的に評価する方法について紹介し、物理的性質との対応について検討した事例を紹介します。

(4) アパレル製品の衛生機能的着心地の評価（14.50～15.50）

..... 京都教育大学 教育学部 准教授 深沢太香子

一日の生活の中で、衣服を身に着けていない時間はどのくらいでしょうか？私達は、入浴時以外は殆どいつも衣服を身に纏っています。ですから、着用する衣服は、安全でかつ心地よいものであることが重要です。ここでは、衣服を気候適応のツールととらえ、衣服の温熱的な心地よさに関わる生理指標とその評価法、そして、心理的評価法について解説します。

(5) スポーツウェアの運動機能的着心地の評価～衣服圧計測からのアプローチ～ (16.00～17.00)

…………… (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 部長 田川 武弘
 運動機能的着心地には、動きやすさや締め付け感が大きく影響します。動きやすさを阻害しない、また快適な締め付け感を、どのように測定し評価を行うかについて衣服圧計測からのアプローチを紹介し、併せて、それらの手法がスポーツウェア開発にどのように活かされているかの具体的な事例も紹介します。

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申込 テキスタイルカレッジ繊維製品の感覚性能と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ならびに申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長 倉敷 哲生 (大阪大学)

副委員長 杉山 研志 (TMT マシナリー)

企画委員 青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)

岡田 英基 (東レ)

梶原 幸治 (キョーワ)

佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)

竹本由美子 (武庫川女子大学)

西田 裕紀 (関西ファッション連合)

林 久秋 (豊田自動織機)

藤井 智成 (津田駒工業)

森 洋人 (アシックス)

山田由佳子 (大阪教育大学)

アドバイザー 宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))

藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)

東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)

稲富伸一郎 (東洋紡)

小川 敦久 (クラレ)

勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)

佐藤 克成 (奈良女子大学)

筒井久美子 (村田機械)

野田 博丈 (トヨタ紡織)

廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)

堀場 洋輔 (信州大学)

森島 英暢 (倉敷紡績)

木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)

松崎 健 (ミズノ)

内丸もと子 (M.U.PLANNIG)

奥野 智朗 (住江織物)

黄 楚 (カトーテック)

滋野 治雄 (帝人)

中根 幸治 (福井大学)

馬場武一郎 (日本毛織)

深沢太香子 (京都教育大学)

松原 孝典 (産業技術短期大学)

山田 博夫 (ユニチカトレーディング)

武内 俊次 (京都工芸繊維大学)

松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

テキスタイルカレッジ

「実習：感性評価のための布特性」

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているの測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に、布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018 年 11 月 21 日 (水)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

- (1) 着心地に関わる評価の概説、布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

- (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定
2) 布の圧縮特性、表面特性の測定
3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定
3 班に分かれ、ローテーションで実習を行います。
..... カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

- (3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説および質疑応答 (ノートパソコンをご持参ください)
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（実用）」

テキスタイルカレッジ「染色加工」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の応用技術に関して詳細に解説していただくだけでなく、高性能素材などの要素技術さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年11月29日(木)、30日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

1日目【11月29日（木）】

(1) 染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

……………元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫
最近健康志向を中心とした機能性加工が多く開発されているが、安全性、環境対策を重視する動きが急速に高まっている。そこで話題の機能性加工剤（非PFOA型撥水加工剤、抗ウイルス加工剤、防蚊加工剤、その他）の開発動向と安全性、業界動向について紹介します。

(2) セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

……………(株)東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顕
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」と及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

(3) タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

……………元日本毛織、元日本羊毛産業協会 長澤 則夫
ウールに代表されるタンパク質系繊維の繊維構造は非常に複雑で、元々多くの機能を併せ持っています。それだけに、このタンパク質系繊維の繊維構造を知ったうえで、染色を始めとする付加価値加工を行う必要があります。またタンパク質系繊維は物理的にも化学的にもデリケートな繊維なので、加工条件の設定には特に配慮することが求められます。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の実際の注意点を重点として解説します。

2日目【11月30日（金）】

(4) 合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

……………元帝人、京都工芸繊維大学非常勤講師 嶋田幸二郎
合繊及びその複合織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。繊維メーカーにて技術開発してきた経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術について、染色および仕上加工の応用を重点にしてサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

(5) 捺染加工及び環境技術（CO₂削減を主に）（13.00～15.00）

……………元日本染色協会、森本技術士事務所 森本 國宏

1) 個人的な嗜好や歴史的な伝統文化の表現の一つに着衣に花鳥や抽象的なデザインを施す技法に捺染（テキスタイルプリント）がある。繊維製品への捺染技術は数百年の歴史を持つ従来法と、十数年前から実用化され始めたインクジェット方式について、その技法と装置について解説します。

2) 染色加工産業は、繊維産業の中で突出した資源（エネルギー、化学薬品、水等）の大量消費産業である。一般には、企業形態は中小企業が多いため、その消費量については個々には余り注目を浴びていないが、全国的な規模、世界規模で俯瞰するとその消費量は膨大な物である。特に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素排出量の削減は最重要課題である。品質や生産性を落とさずに化石燃料、電力消費量を減じる技術を中心に、今後予想される問題点についてもその解決策について共に議論する場としたい。

(6) 繊維製品の性能評価 (15.15~17.15)

..... 元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例, 機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について, その付与メカニズムと評価方法について解説します.

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 25,000 円, 協賛学協会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,000 円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工 (実用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会 HP より WEB 申込みができます.

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第25回秋季セミナー

期日 2018年11月15日(木), 16日(金)

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内容 プログラムが決定次第, 掲載します.

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	上野 清隆 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顕 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

講演会「ITMA ASIA+CITME 2018(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が2018年10月15日～19日の日程で上海にて開催されます。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME 2018(上海)に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年1月25日(金)

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)

- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (1) 全般(10.00～10.40)
- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (2) 合繊機械(10.40～11.20)
- 紡糸巻取関係 TMT マシナリー(株)
- 加工機関係 TMT マシナリー(株)
- (3) 紡績機械(11.30～12.10)
- (株)豊田自動織機
- (4) 革新精紡機(12.10～12.30)
- 村田機械(株)
- (5) 自動ワインダー(12.30～12.50)
- 村田機械(株)
- (6) 織機(13.50～14.30)
- 津田駒工業(株)
- (7) 編機(14.30～15.10)
- 未定
- (8) 染色加工機械(15.20～16.00)
- (株)日阪製作所
- (9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)
- コニカミノルタ(株)
- (10) ディスカッション(16.40～17.20)
- 講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

- (11) 交流会(17.30～19.00)

共 催 繊維機械研究会

定 員 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

申 込 「講演会ITMA ASIA + CITME 2018(上海)視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

東海支部 支部年会および記念講演会

東海支部では、下記の要領にて記念講演会を開催します。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年7月13日(金) 13.30~15.30

会 場 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター4階技術研修室(愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35)

内 容

1. 支部年会(11.30~12.00)

2. 記念講演会

(1) セメント補強用ビニロン繊維と応用例(13.30~14.30)

.....(株)クラレ 岡山事業所 産資開発部 研究員 堀越 敬史
 ポリビニルアルコール(PVA)を原料とするビニロン繊維は、1950年に国内初の合成繊維として工業生産が開始されました。ビニロン繊維の特徴である、高強度・耐アルカリ性・耐候性・高接着性・水溶性を活かし、現在ではゴム補強材や農業資材、紙・不織布など、主に産業資材分野に展開しています。本講演では現在アスベスト代替を中心に幅広く使用されているセメント補強用ビニロン及びその使用例について紹介します。

(2) 人間快適工学による繊維製品の「心地」の数値化と産学連携製品への展開(14.30~15.30)

.....信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典
 快適性である「心地」がさまざまな繊維製品の品質に大きな影響を与えています。消費者の触知覚で評価されている繊維製品の「着心地」をどのような官能検査手法を用いて評価したらよいか、評価された「着心地」に関連する物理特性の測定方法、「心地」と製品の物理特性を関連付ける方法について紹介します。これらの手法を用いて商品化された繊維製品の評価事例を紹介します。

参加費 無料

申 込 「東海支部記念講演会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号)を記入の上、E-mailにて下記宛お申し込み下さい。

申込先 E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp

〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35, TEL 0586-45-7871

お知らせ FMC7月度セミナー

FMC(ファッション素材センター)の7月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申し込み下さい。

詳しくはFMCのホームページ(http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)をご参照下さい。

期 日 2018年7月6日(金) 18.15~20.00

会 場 大阪産業創造館6F研修室AB(大阪市中央区本町1-4-5)

内 容 なりたいようになるための1・2・3~マネジメントシステムの考え方~

皆様自身も会社も家族も仲良しグループも、み~んな“なりたいように”になるために、なんと!国際規格の考え方が役に立つんです。小難しい話は別にして、ちょっとかじってみませんか?マネジメントシステムの国際規格であるISO9001, ISO14001が2015年に改訂されました。そこで強化された内容が実は、実は、私たちの“なりたいように”なるためにノウハウが詰まっています。今回は、そんなマネジメントシステム的な物事のとりえ方、対策の練り方をご紹介します。

講 師 ジンノ技術士事務所 所長 神野友香子

参加費 ビジター会員2,000円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年11回のセミナー(10月は見学会)に無料で参加できます。年会費12,000円でどなたでも会員になれます。]

申 込 「FMC7月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話またはFAX番号をご記入の上、6月29日(金)までにE-mailにてお申し込み下さい。

申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC事務局

E-mail: fmc.office.mail@gmail.com

お知らせ 独立行政法人日本学術振興会繊維・高分子機能加工 第120委員会 第129回講演会

(独)日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会では、染料・染色・機能加工部会、高性能・高機能繊維部会、複合材料部会の3つの部会に分かれ活動を行っております。今回の講演会では、高性能・高機能繊維部会から、繊維の機能とその付与方法、及び標準化に関連したテーマを中心に講演をお願いしました。繊維関連企業・研究機関等の皆様だけではなく、異業種の皆様のご来聴もお待ちしております。

期 日 2018年6月29日(金) 10.00~17.05

会 場 ハピリン・ハピリンホール(福井市中央1-2-1) JR福井駅西口徒歩1分

内 容 「繊維の高機能化と標準化-最新動向-」

開会挨拶(10.00~10.05).....第120委員会委員長(東京工業大学教授) 鞠谷雄士

(1)天然染料を用いたインクジェットデジタル捺染(10.05~11.05)

.....北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 講師 増田貴史

(2)最近のISO・IEC・ASTMにおける促進耐候性試験規格の動向(11.15~12.15)

.....スガ試験機(株) 代表取締役社長 須賀茂雄

(3)ふくいに取り組んでいる繊維強化複合材料技術とその展開について(13.40~14.40)

.....福井県工業技術センター 新産業創出研究部 先端複合材料研究グループ総括研究員 川邊和正

(4)非フッ素系撥水剤について(14.50~15.50)

.....三木理研工業(株) 松下 力

(5)界面活性剤混合系での分散安定性に優れるベシクルの調製とその応用(16.00~17.00)

.....東京理科大学 理工学部 先端化学科 教授 酒井秀樹

閉会挨拶(17.00~17.05)

.....第120委員会高性能高機能繊維部会担当副委員長(共立女子大学教授) 村瀬浩貴

(6)懇親会(17.30~)

主 催 (独)日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会

後 援 日本繊維機械学会北陸支部、繊維学会北陸支部、福井県繊維協会、福井県繊維技術協会、石川県繊維協会、繊維リソースいしかわ、日本繊維製品消費科学会

参加費 入場無料、但し資料代一般3,000円、学生1,000円

懇親会 参加費5,000円/会場:Vesta(<https://vesta-fukui.com>, TEL:0776-43-9799) 講演会場からアーケード内を徒歩2、3分。講師の方々をはじめ120委員会委員も参加します。親密な交流、会談、用談の場として御活用下さい。

申 込 氏名、連絡先(企業名/住所/Tel/Fax/E-mailアドレス等)を明記の上、下記宛ご連絡ください。当日受付も可能です。

申込先 第120委員会庶務幹事、京都工芸繊維大学高崎緑(E-mail:mitakas@kit.ac.jp, TEL:075-724-7792) 申し込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報について、開催団体(後援含む)以外の第三者に情報を提供することはありません。開催団体から行事等の各種案内を送らせていただくことがあります。

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員長	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)		
委員	中西 康雅 (三重大学)	保田 和則 (愛媛大学)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)		

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	臼谷旗世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
	高澤 史納（高澤織物㈱テキスタイルデザイナー）	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）
	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）
	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱代表取締役社長）

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

		申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名		生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
役職および 所属部課名			
電話			
E-mail			
自宅住所	〒		
連絡事項			
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引		
承認期日 (事務局記入)	年 月 日 印		

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

ジャーナル編集委員会

委員長	木村 裕和 (信州大学)	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)
副委員長	保田 和則 (愛媛大学)	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)
編集委員	井上 真理 (神戸大学)	金井 博幸 (信州大学)
	植松 英之 (福井大学)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	坂口 明男 (信州大学)
	近藤 幹也 (東京都立産業技術研究センター)	廣垣 和正 (福井大学)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	向井 康人 (名古屋大学)
	松岡 敏生 (三重県工業研究所)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	興倉 弘子 (滋賀大学)
	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)	
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)	